

＜経済産業省の対策一覧＞

資料4-1

（エネルギー起源CO ₂ ）	（見込みに照らした実績トレンド等の評価）
エネルギーの面的な利用の促進	-
地域レベルでのテナントビル等に対する温暖化対策の推進	-
自主行動計画の推進・強化	◎（16業種）、○（0業種）、 △（6業種）、-（19業種）
製造分野における省エネ型機器の普及	◎
工場・事業場におけるエネルギー管理の徹底	◎
中小企業の排出削減対策の推進（国内クレジット制度）	△
建築物の省エネ性能の向上	◎
エネルギー管理システムの普及	◎
トップランナー基準に基づく機器の効率向上等	◎
高効率な省エネルギー機器の普及	◎
国民運動の実施（エネルギー供給事業者等による情報提供）	-
住宅の省エネ性能の向上	△
自動車単体対策	◎
荷主と物流事業者の協働による省CO ₂ 化の推進	-
原子力の推進等による電力分野における二酸化炭素排出原単位の低減	△

注) ◎：目標達成又は実績のトレンドが見込みを上回っている、○：実績のトレンドが概ね見込みどおり、
△：実績のトレンドが計画策定時の見込みと比べて低い、-：その他（定量的なデータが得られないものなど）

(エネルギー起源CO2)	(見込みに照らした実績トレンド等の評価)
天然ガスの導入及び利用拡大	—
石油の効率的利用の促進	—
LPGガスの効率的利用の促進	—
新エネルギー対策の推進	○
コージェネレーション・燃料電池の導入促進	◎
(エネルギー起源CO2以外のガス削減)	(見込みに照らした実績トレンド等の評価)
混合セメントの利用拡大	○
アジピン酸製造過程における一酸化二窒素分解装置の設置	○
産業界の計画的な取組の促進・代替物質の開発等及び代替製品の利用の促進	◎
冷媒として機器に充填されたHFCの法律に基づく回収等	△
(横断的な対策)	(見込みに照らした実績トレンド等の評価)
ポリシーミックスの活用 (経済的手法、国内排出量取引制度、地球温暖化対策のための税)	—
温室効果ガス排出量の算定・報告・公表制度	—
温暖化対策技術開発の推進	—
(京都メカニズムに関する対策・施策)	(見込みに照らした実績トレンド等の評価)
政府によるクレジット取得	—

注) ◎：目標達成又は実績のトレンドが見込みを上回っている、○：実績のトレンドが概ね見込みどおり、
△：実績のトレンドが計画策定時の見込みと比べて低い、—：その他（定量的なデータが得られないものなど）